

P=ポイント

国 内		県 内	
8日	9月景気動向一致指数、4カ月ぶりに悪化 9月の景気動向一致指数(CI、速報値、2015年=100)は、前月比0.7P低下の101.1と4カ月ぶりに悪化。一致指数を構成する10項目(集計済み8項目)のうち、3項目が上昇したが5項目で低下した。	1日	延岡市、北浦町でオンデマンド型乗り合いタクシー運行開始 延岡市は、北浦町オンデマンド型乗り合いタクシー(利用者の予約に応じて柔軟に運行する公共交通サービス)「チョイソコのべおか」の運行を開始。利用については事前に会員登録が必要。
8日	9月家計調査報告、消費支出実質で前年同月比2.3%の増加 9月の家計調査報告では、1世帯当たりの消費支出(2人以上の世帯)は28万999円。物価変動の影響を除いた実質は、旅行関連のサービス消費などの伸びにより、前年同月比2.3%の増加。	4日	串間市、「世界気候エネルギー首長誓約」に署名 串間市は県内で初めて、各自治体の首長がエネルギーの地産地消や2030年の温室効果ガス排出削減を国の目標以上に目指すことなどを誓う取り組みである「世界気候エネルギー首長誓約」に署名した。
9日	2022年度上期国際収支状況、経常収支は14年度以来の低水準 2022年度上期(4~9月)の国際収支状況(速報)によると、貿易や投資などの海外との取引状況を表す経常収支は4兆8,458億円の黒字。上期としては2014年度の2兆8,163億円以来の低水準。	7日	宮崎県地域経済振興100年企業顕彰、177社が受賞 県は、本県経済の振興や発展に寄与した創業100年以上の企業を対象に、「宮崎県地域経済振興100年企業顕彰」の受賞者177社を決定。最も歴史が長いのは1746(延享3)年創業の「さどわら店(西都市)」。
9日	10月全国企業倒産件数、7カ月連続で前年同月を上回った 10月の全国企業倒産件数(負債額1,000万円以上)は、前年同月比13.5%増の596件と7カ月連続で前年同月を上回った。新型コロナウイルス関連倒産は同42.8%増の230件。	13日	本県発着国際線、2年8カ月ぶりに再開 韓国(ソウル)発チャーター便が宮崎ブーゲンビリア空港に到着し、本県発着の国際線運航が2020年3月以降2年8カ月ぶりに再開。同空港発着の国際線定期便については現在停止状態。
9日	10月景気ウォッチャー調査、景況感3カ月連続改善 10月の景気ウォッチャー調査によると、景気の現状判断指数(DI、季節調整値)は、前月比1.5P上昇の49.9と3カ月連続改善。雇用関連指数は低下したものの、家計動向関連や企業動向関連指数が上昇した。	14日	侍ジャパンの宮崎合宿、2023年2月17~27日 日本野球機構とNPBエンタープライズは、第5回ワールド・ベースボール・クラシックに参加する日本代表「侍ジャパン」の強化合宿を2023年2月17~27日の11日間、宮崎市のひなたサンマリンスタージアム宮崎などで行うと発表。
17日	10月貿易統計、貿易収支15カ月連続の赤字 10月の貿易統計(速報)では、輸出額は前年同月比25.3%増の9兆15億円、輸入額は同53.5%増の11兆1,638億円。輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支額は▲2兆1,623億円と15カ月連続の赤字。	18日	宮崎市、市役所新庁舎建設基本構想6案を提示 宮崎市は、市議会全員協議会で新庁舎建設基本構想6案を示した。場所は現在地が4案、JR宮崎駅東の宮崎中央公園内が2案。いずれも12階建てを想定し、敷地内や周辺に立体駐車場も整備する。
24日	11月月例経済報告、国内景気判断5カ月連続据え置き 11月の月例経済報告は、国内景気の基調判断を「緩やかに持ち直している」と5カ月連続据え置いた。景気の先行きについては、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響に十分注意が必要とした。	19日	高病原性鳥インフルエンザ発生 県は、新富町の採卵鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザ(H5亜型)の発生を確認。国の指針に基づき、当該農場の飼養鶏の殺処分及び通行遮断など必要な防疫措置を開始。
28日	給与デジタル払い、2023年4月に解禁 厚生労働省は、給与をデジタルマネーでの受け取りが可能となる労働基準法の改正省令を公布。施行は2023年4月を予定し、給与の振込先拡大は25年ぶり。	26日	県道1号、約4年9カ月ぶりに通行再開 2018年4月に噴火した霧島連山・硫黄山の火山活動の影響により、周辺の一部区間が通行止めとなっていた県道1号(小林えびの高原牧園線)が約4年9カ月ぶりに通行再開となった。